

会 議 名	平成 30 年度 第 1 回 七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会
開 催 日 時	平成 30 年 7 月 27 日 (金) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 35 分
開 催 場 所	パトリア 3 階 会議室 4
出 席 委 員	青木委員、安藤委員、円山委員、北山委員、佐野委員、諏訪委員、竹本委員、橋爪委員、飛弾委員、蒔田委員、松浦委員、室木委員、森委員 計 13 名
欠 席 委 員	南委員、森下委員 計 2 名
事 務 局	津田健康福祉部長 高齢者支援課：原田課長、碓課長補佐、舩木、室矢、春木、木村、森野、柿島 健康推進課：高瀬課長補佐 福祉課：和田

## 報告・協議内容等

事務局 (原田課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布資料確認</li> <li>委員の出席状況 (15 名中 13 名)</li> </ul>
<b>1. 開 会</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>津田健康福祉部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開会の挨拶 本日はご多用のところ、また暑い中ご出席いただき、ありがとうございます。皆様方には、高齢者福祉分科会の委員をお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。また、前期に引き続き、就任いただきました皆様には、昨年度、七尾市老人福祉計画・第 7 期介護保険事業計画の策定に関しご審議をいただきましたことを、改めましてお礼申し上げます。本分科会は、市長が七尾市健康福祉審議会に対して諮問した事項の高齢者福祉に関する計画の策定や進行・進捗管理、重要事項に関することを審議していただく機関となっております。任期中の平成 32 年度には、七尾市老人福祉計画・第 7 期介護保険事業計画が最終年度となり、次の新たな計画の策定をお願いすることになりますので、よろしく申し上げます。 皆様ご存じのように、介護保険制度では、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、誰もが住み慣れたところで、最後まで自立して暮らしていくことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を地域に求めています。七尾市では、高齢化率が 2025 年には 39.7%になると推計され、このような中、高齢者を含めたすべての方が住み慣れた地域で、お互いが支え合い安心して暮らせる環境を市民との協働により、作り上げることが喫緊の課題となっております。 今後、市が対応していく中で、各委員の皆様方からご意見を聞かせていただき、適切に施策へ反映していくよう、努めて参りたいと考えています。委員の皆様には、向こう 3 年間七尾市健康福祉審議会 高齢者福祉分科会委員として、高齢者施策の推進にご理解、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。 どうぞ、よろしくお願い申し上げます。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員自己紹介</li> <li>・事務局紹介</li> </ul> <p>事務局 (原田課長)</p>	<p>座席順に自己紹介 (欠席委員 2 名報告)</p> <p>座席順に自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料訂正</li> </ul> <p>32 ページ「説明・報告事項 4」、40 ページ「説明・報告事項 3」順番を取り間違えております。説明は、3 番、4 番の順で行います。</p>
<p><b>2. 議件</b></p> <p><b>(1) 会長の選任及び副会長の指名について</b></p>	
事務局 (原田課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の選任 資料 P 3</li> </ul> <p>七尾市健康福祉審議会高齢者福祉分科会要綱第 5 条第 1 項の規定により、「委員の互選により選任」となっております。どなたかご意見ございますか。</p>
北山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期も円山委員にお願いしていたので、今回もお願いできればと思いますが。 (異議なしの声あり)</li> </ul>
事務局 (原田課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長の指名 資料 P 3</li> </ul> <p>同要綱により「会長が指名する」となっております。会長から指名をお願いします。</p>
円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長は、北山委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。 (異議なしの声あり)</li> </ul>
円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長就任あいさつ</li> </ul> <p>みなさん、こんにちは。高齢者福祉分科会ですが、この意義は、先ほど津田部長からご説明があったとおりです。今年はとても暑い夏で、梅雨明けも 2 週間ほど早かったと思いますが、明けてからは真夏日の連続で、毎日のように熱中症で運び込まれたとか亡くなったとかという話を耳にしている。</p> <p>暑い夏が過ぎても、七尾市の高齢者が福祉不足症みたいな感じで担ぎ込まれないようにみんなで力を合わせてお年寄りが住みやすい地域にしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。</p>
<p><b>3. 説明・報告事項</b></p> <p><b>(1) 七尾市健康福祉審議会及び高齢者福祉分科会について</b></p>	
事務局 (原田課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【説明・報告事項 1】説明 資料 P 4～P 7 (委員からの質問なし)</li> </ul>
<p><b>(2) 平成 29 年度介護保険事業計画・老人福祉計画の事業実績報告</b></p>	
事務局 (砦補佐) (室矢) (森野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【説明・報告事項 2】説明 資料 P 8～P 31</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野委員からの事前質問 平成 29 年度における元気な高齢者数は何人か。 資料 P 23～P 24 参照</li> </ul> <p><b>【回答】</b></p> <p>65 歳以上の高齢者数を基に、要支援・要介護認定を受けていない方を算出した。前期高齢者で要介護認定を受けている方は 301 人、前期高齢者数は 9,3</p>

	<p>00人であるので、8,999人が元気な前期高齢者ということになる。後期高齢者で要介護認定を受けている方は3,075人、後期高齢者数は9,735人であるので、6,660人が元気な後期高齢者になる。(合計15,659人)</p>
<p>蒔田委員</p>	<p>・介護職の人材確保に関する質問(資料P27)</p> <p>ケアプランを作っている。事業所数の表でヘルパーの事業所が8か所となっており、その中の一つが併設されている。事業所数は確かに減っていないが、内情的には職員の確保が難しくなっている。最初の説明でも介護職のすそ野を広げると説明があったが、利用者の希望があってもご紹介できない、組むことが出来ない状況が出てきている。</p> <p>小中学生への普及啓発もされているということだが、その方々が社会人になるまでの間、市としては現在、介護保険を成り立たせるための努力、取り組みをしているのか。</p>
<p>事務局(原田課長)</p>	<p>・人材確保の対策については、今年度からの第7期の計画で初めて盛り込んだ。昨年度の分科会において、各事業所がそういう課題を抱えている、これについて分科会で協議していかなければならないとご意見をいただいて、盛り込んだところである。介護計画ではすそ野を広げるために小中学生の育成、あるいは介護ロボットの活用、中高年マンパワー事業の周知と3つの計画を挙げており、その一つとして、本日配布している資料の「中高年の皆様へ 介護の基本研修&amp;職場体験」は、石川県と石川県社会福祉協議会が合同で行っている事業である。昨年度七尾市で開催された研修には、14名受講し、そのうち1名が就職したと聞いている。地道な活動をやっているところであるが、職員、看護師不足については、市内の介護施設でもかなりの影響が出ていることは承知している。在宅医療、介護連携協議会でもそういった意見が出され、多職種のみなさんと協議したが、なかなか特効薬が見つからない。病院においては夜間のローテーションを組めないという意見をいただいている。そのような中、市としては今後の課題として、七尾市で勤務することを条件にする奨学金制度を設けることも検討していきたいと考えている。</p>
<p>蒔田委員</p>	<p>・高齢者虐待の緊急一時保護について(資料P39)</p> <p>虐待の不安を感じるケースが増えてきている。一時保護はどのように規定されているのか、保護された方の解除のタイミングはどのようになるか。</p> <p>以前、経済的及び身体的虐待を受けていた方を保護してもらった事例で、再発の危険性が高いものがあった。ケアマネジャーに情報が流されないまま、家族の求めで本人が帰されていたことがあった。市の方ではどのような流れで、進めているのか教えてほしい。</p>
<p>事務局(原田課長)</p>	<p>・虐待の恐れが残っている間は、解除しない。虐待の恐れの有無については、地域包括支援センターと協力し、訪問や面接調査を行っている。解除のタイミングについては、市と地域包括支援センターで行っている虐待対応評価会議で、その恐れがないと判断した場合に解除している。</p>

円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムを支える一番大事な人材である訪問看護師も不足している。訪問看護については、今月、恵寿総合病院が3名のステーションを立ち上げて、喜んでいるところである。</li> </ul>
森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材確保については、第7期の計画で大変重要だと考えている。即、何が必要か真剣に考えて取り組むべきである。中高年マンパワーを生かすのが一番手っ取り早い。シルバー人材センターを活用できないか。介護部門の登録者を増やし、ボランティアではなく、お金を払って働いてもらう。ポイント制介護ボランティアだけでは追いつかない。</li> </ul>
事務局 (原田課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターには、総合事業が始まる時点で相談させていただけばよかったかもしれない。現在シルバー人材センターには介護部門はないが、総合事業の参入業者が少ない現状でもあるので、今年度シルバー人材センターにお願いして、介護に興味、関心がある方がいるようならぜひ相談したい。</li> </ul>
円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談・支援体制の周知・充実について (資料P15) 市の方ではどれくらい浸透したと考えているか。おおよそのイメージはどうか。高齢者の独り暮らしなどが増えている中、地域包括支援センターの相談窓口の周知が非常に大事だが、どれだけ周知されているか。もし分からなければ、さらに周知にご努力いただきたい。</li> <li>・認知症サポーター養成事業について (資料P29) 認知症サポーター養成講座を受けた方の活動実態はどうか。受講者数だけでなく、実態を知ることが大切であるし、関心があって受講した方の活動できる環境づくりが必要ではないか。</li> </ul>
事務局 (碓補佐)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ、活動実態は把握していない。</li> </ul>
円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者数の把握について (補足説明) 七尾市あったかプランの5ページの図を参照していただければ、全国平均に対して七尾市の状況が分かるので参考に見ていただきたい。</li> <li>・配布資料「よくわかる在宅医療のしおり」について 本冊子に市の医療機関が掲載されているが、谷内耳鼻科が閉院し、山崎耳鼻科として開院したのが掲載されていない。今後は、追記して配布してほしい。</li> </ul>
<b>(3) 平成29年度高齢者虐待防止法に基づく取組実績報告</b>	
事務局 (森野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【報告事項3】説明 資料P40～P42 (委員からの質問なし)</li> </ul>
<b>(4) 七尾市老人福祉計画・介護保険事業計画の概要について</b>	
事務局 (原田課長) (碓補佐) (森野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【報告事項4】説明 資料P32～P39</li> </ul>
円山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団塊の世代が75歳以上になる2025年、なぜ75歳かというと健康寿命の境目である。それを過ぎると急に医療・介護・看護などが必要になってくる。そ</li> </ul>

	<p>れをどう支えるかという話である。現在の医療・介護の施設状況では支えきれない。だから地域包括ケアシステムが必要。行政がどうかしてくれるということを考えている場合ではない。自助と互助の中で自分で頑張るという覚悟が必要である。どうしても自分でできない場合は、共助と公助で支えるという仕組みである。</p> <p>本日の委員の皆様はそれぞれの組織の代表の立場で来ていると思う。ぜひ、この状況を団体に帰って伝えてほしい。自助、互助を高めるのが包括ケアである。これから大変な時代に入っていくが、みんなで知恵を出し合いながら住みやすい地域にしていくしかないし、やる気になればなんでもできるはず、頑張っていくしかない。</p>
<p><b>4. その他</b> <b>(1) 平成 30 年度高齢者福祉分科会スケジュール</b></p>	
事務局 (原田課長)	<p>・説明 P 4 3 (委員からの質問なし)</p>
<p><b>(2) その他</b> 特になし</p>	
<p><b>5. 閉会</b></p>	
北山副会長	<p>・あいさつ みなさまお疲れ様でした。あったかプランの初年度ということで、今後どのような形で実施されるのを見ながら進めていけると考えております。また、進めて行く中で新たな課題も出てくれば提案させていただきたいと考えております。本日はお疲れ様でした。</p>